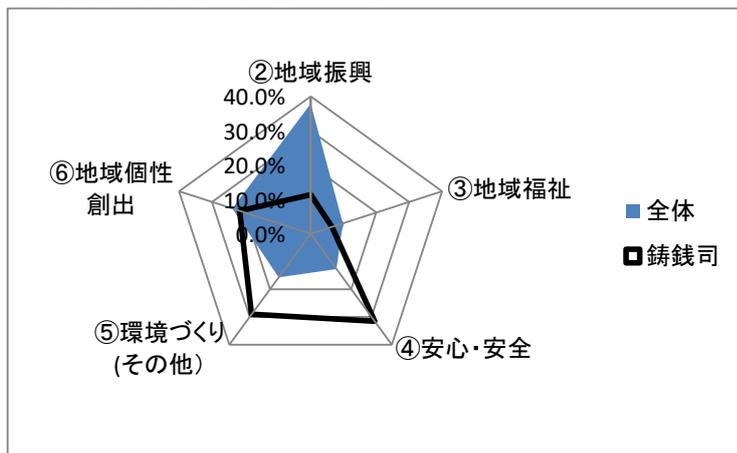


## 鑄銭司自治会 地域づくり交付金事業概要(令和3年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,700人	自治会数	18
世帯数	859世帯	自治会加入率	88.0%

※数値は、令和4年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	11,023,000 円
交付金決算額	11,023,000 円
その他収入	81,031 円
交付金決算額／配分額	100.0%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,604,534 円
②地域振興	145,174 円
③地域福祉	83,210 円
④安心・安全	403,246 円
⑤環境づくり(土木工事)	5,221,000 円
⑤環境づくり(その他)	371,097 円
⑥地域個性創出	275,770 円
決算総額	11,104,031 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

### ■総括

第3次地域づくり5カ年計画の1年目であったが、新型コロナの影響により新年互例会や風鎮祭「盆踊りの夕べ」など、地区民が交流するような事業を中止することとなった。その中で、三密を避ける工夫をして、防災訓練や三世代交流事業などが計画通りに実施できた。また、新たな取り組みとしてウォーキングの推進を実施できたことは、コロナ禍における事業の進め方として今後の参考になった。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	子ども教育・福祉関係事業、高齢者教育・福祉関係事業
④ 安心・安全	防犯対策推進事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事、環境美化事業
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承事業、ふるさと歴史勉強会事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	環境美化事業	決算額	371,097円
	目的	長沢池周辺を地域内外の憩いの場として整備		
	実施内容	①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進		
	実施時期	①11月 ②6月、9月、2月		
	参加人数	①50人 ②71人、8人、180人		
	成果	①通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施した。 ②長沢池の芝桜の草取り及び松島の枯れ枝や枯葉の回収、大平山のフジバカマ畑拡張・整地及び周辺の伐採など大規模な整備を実施した。		
	評価	①環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもからお年寄までが参加し、更に地域内の8団体が協力して、芝桜の植栽や草取りを行うなど、三世代交流が図れた。		
今後に向けて	鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また行ってみようと思ってもらえるように、美化活動・花のある地域づくり活動を継続する。			
②	事業名	地域資源PR事業	決算額	269,444円
	目的	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	実施内容	①地域行事と資源を載せたカレンダー制作 ②史跡看板設置		
	実施時期	①2月 ②3月		
	参加人数	①750世帯・51社・14施設・20連合自治会		
	成果	①鑄銭司小学校創立150周年を記念して、小学校今昔の写真を題材にカレンダーを制作した。 ②すぜんじ史跡マップの看板を長沢ガーデンに設置し、地域資源をPRした。		
	評価	①地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすく、また鑄銭司小学校150年のあゆみを写真とともに紹介し、興味をもって見てもらえた。 ②鑄銭司内外の多くの人々が立ち寄る長沢ガーデンに史跡看板を設置したことにより、鑄銭司の名所旧跡に多くの人々が訪れることが期待できる。		
今後に向けて	地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味をもってもらい、参画する人の拡大につなげていく。			
③	事業名	防災活動推進事業	決算額	184,724円
	目的	地域住民の安全確保のための防災意識の向上		
	実施内容	防災訓練の実施		
	実施時期	12月		
	参加人数	47人		
	成果	二巡目を迎えた、5地区中3地区目の訓練であり、地区が中心となって想定した災害内容での訓練が実施できた。新型コロナの影響により単位自治会の避難所への避難者を、単位自治会長、班長、自主防災関係者に限定して開催した。また、更なる防災意識の高揚を図り、防災バッグと手回し式防災ラジオを各単位自治会に配布して、自治会館等に設置した。		
	評価	単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。		
今後に向けて	新型コロナの影響により、非常炊出し訓練が実施できなかったが、新型コロナの感染状況を見て、単位自治会毎の非常炊出し訓練を実施する。			